



アドビシステムズ社、Adobe Flash Access 2.0 を発表

新しいコンテンツ保護ソリューションにより、 Adobe Flash Player へのプレミアムビデオ配信が可能に

【2009年9月11日】

米国カリフォルニア州サンノゼ、オランダ アムステルダム発（2009年9月10日）Adobe Systems Incorporated（Nasdaq: ADBE）（本社：米国カリフォルニア州サンノゼ、以下アドビシステムズ社）は、2009 国際放送見本市（IBC2009）において、Adobe® Flash® Platform の主要コンポーネントのひとつである Adobe Flash® Access 2.0 を発表しました。これまで Adobe Flash Media Rights Management Server と呼ばれていた Flash Access 2.0 は、付加価値の高いコンテンツの配信と課金を可能にし、放送局やメディア企業に新たな収益源をもたらす拡張性と柔軟性を備えたコンテンツ保護ソリューションです。今回のリリースにより、次期バージョンの Adobe Flash Player 上において、Flash Access 2.0 で保護されたコンテンツをセキュリティを確保しながら再生できるようになります。Adobe Flash Player は、OS を問わないブラウザ用プラグインとして、インターネットに接続されている世界中のデスクトップ PC の 98% 以上にインストールされています。来年早々に出荷が予定されている Adobe Flash Access 2.0 は、ストリーミングまたはダウンロードによるコンテンツ販売やレンタル、ビデオ オン デマンドなど幅広いビジネスモデルを支援する、オーディオビジュアルコンテンツの強力な保護と柔軟な使用ルールを提供します。

アドビシステムズ社は、9月11日（金）から15日（火）までの間、IBC 2009 が開催されているオランダ、アムステルダムの RAI Convention Center の同社ブース（ホール7、スタンド H.23）にて、Flash Access 2.0 を展示します。

アドビシステムズ社ダイナミックメディア部門バイスプレジデント兼ゼネラルマネージャーであるジム ジェラルド（Jim Guerard）は、「Web 上のビデオ配信ソフトウェアとしてナンバーワンの地位にある Adobe Flash Platform により、多くのユーザーが高品質なコンテンツを楽しめるようになりました。Adobe Flash Access 2.0 の提供開始に伴い、放送局やメディア企業は、付加価値の高いコンテンツを強力に保護し、新しいビジネスモデルに基づく、表現力豊かで双方向性のあるオンライン体験をユーザーに提供できるようになります」と述べています。

かつてない応用範囲と柔軟性

メディア企業は、オンライン配信チャンネルを通じて付加価値の高いコンテンツをユーザーに提供する手段を求めています。持続可能なビジネスモデルを作り出すには、コンテンツへのアクセスとコントロールの間で適切なバランスをとらなければなりません。Flash Access 2.0 は、Adobe Flash Platform ではこれまで提供してこなかった応用範囲と双方向性に、強力なセキュリティと柔軟な使用ルールを組み合わせ、視聴をレンタル期間中のみ制限するなど、メディア企業が必要とする制約を加えるための手段を提供します。

Warner Bros. 社の Technical Operations 担当プレジデント、ダーシー アントネリス（Darcy

Antonellis)氏は、「Warner Bros.では、視聴者がオンライン上でビデオを楽しんでもらうための画期的な方法を常に模索しています。当社は新しい Adobe Flash Access を歓迎します。これにより、当社の既存および将来のパートナー各社は Warner Bros. のコンテンツをシームレスかつ容易に Adobe Flash Player に提供できるようになり、当社のオンラインエンターテインメントへのアクセスをさらに拡大できるようになります」と述べています。

また、企業や教育機関は Flash Access 2.0 を使い、個別のコンテンツ保護ニーズに合ったソリューションを構築し、教材や企業広報などのオーディオビジュアルコンテンツを安全に従業員や顧客、パートナーに提供することができます。

付加価値の高いコンテンツの強力な保護

Adobe Flash Access 2.0 は、業界標準の暗号化技術に基づき、コンテンツをそのライフサイクルを通じて改ざんや不正使用から保護できる強力な環境を提供します。また、コンテンツを個々のデバイスや、各家庭も含めたドメインに安全に結びつけることが可能です。Flash Access 2.0 は新たに出力の保護にも対応しているため、コンテンツプロバイダはアナログおよびデジタル出力における保護の基準を指定することにより、不正な録画/録音に対する保護をこれまで以上に強化できるようになりました。

Flash Access 2.0 は、プログレッシブダウンロードやストリーミング、ローカル再生向けダウンロードなどのさまざまな配信手段を通じ、規格ベースの MPEG 4 (H.264) コンテンツ、および FLV ファイル形式の配信に対応しています。また、保護されたコンテンツは、ブラウザだけでなく Adobe AIR (Adobe Integrated Runtime) * 環境で実行されるリッチインターネットアプリケーション (RIA) による再生にも対応しています。デベロッパーは、コンテンツのローカルライブラリや最新のダウンロード マネージャー、高度な双方向性を備えたユーザーインタフェースを含む Adobe AIR を駆使して、OS を問わない RIA ソリューションを作成することができます。

容易な展開と統合

Adobe Flash Access 2.0 は、Software Development Kit として提供されているため、インターネット規模の展開のほか、受注管理、加入者データベース、アクセス管理、LDAP ベースのアクティブ ディレクトリなどの既存のソフトウェアやサービスへの組み込みも容易に行えます。Flash Access は、ホスト型コンテンツ保護ソリューションを提供するアドビシステムズ社の多数のパートナーを通じて Software as a Service (SaaS) としても提供されているため、コンテンツプロバイダは複数のクライアントにまたがる各パートナーのインフラストラクチャを活用することで市場投入時間を短縮することが可能です。

Web 上のビデオ配信でナンバーワンのプラットフォーム

Adobe Flash Platform は、あらゆる OS やデバイスで一貫して実行することのできる Web アプリケーションやコンテンツ、ビデオを開発するためのツール、フレームワーク、クライアント、サーバーが統合された完全なシステムです。Adobe Flash Player は、インターネットに接続された世界中のコンピュータの 98%以上にインストールされ、Web ビデオでは約 80%に使用されています。Flash Platform は BBC や Disney.com、HULU、PBS といった大手放送局やメディア企業により、世界中のオンデマンド ビデオやコンテンツ ストリーミングに使用されています。また、Flash 技術は MLB.com や DirectTV でのストリーミング配信にも使用され、YouTube や MySpace をはじめとするソーシャル ネットワークを支える基盤技術です。

提供開始時期

Adobe Flash Access は、2010 年上半期に提供を開始する予定です。

アドビ システムズ社について

アドビ システムズ社は、時間や場所、利用するメディアや機器を問わず、あらゆるユーザーの、アイデアや情報との関わり方に変革をもたらしています。アドビ システムズ 株式会社はその日本法人です。同社に関する詳細な情報は、Web サイトに掲載されています。

Adobe、Adobe ロゴ、AIR、Flash は Adobe Systems Incorporated (アドビ システムズ社) の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。その他すべての商標は、それぞれの権利帰属者の所有物です。

(C) 2009 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.